

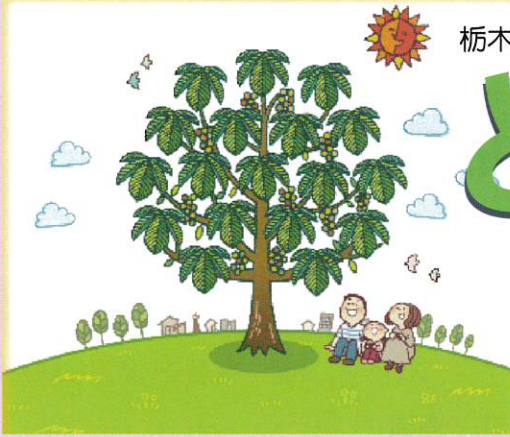


栃木フォスタリングセンター通信

とちのき

Vol.08

TFC



栃木県では養育里親を親しみを込めて「とちのきフォスター」と呼んでいます。手のひらの形をした大きな葉を持ち、しっかり根を張り強く大きな木に育つ県木「栃の木」。その「とちのき」と、英語で里親を意味する「フォスター」を組み合わせ、愛情をこめて育てる里親と、その愛情を受け、すくすく育つ子どものイメージを表しています。TFCではこの愛称から機関紙を「とちのき」としました。

令和6(2024)年2月

養徳園総合施設長
とちぎ家庭養育推進協議会理事

福田雅章



「ゆらぎ」を受け入れる

児童養護施設のベテラン職員や何人もの子どもの養育にあたった里親さんから共通して聞くことは、「子どもの養育に正解はない」、「子どもはみんな違う」「やればやるほどわからなくなる」といったことです。生活や人生にまつわることは、「こうすればこうなる」と思ってもそうならないのが常ではないでしょうか。

施設職員や里親など養育者は、子どもの思いもよらない言動に、動揺し、わからなさや無力さを感じ、迷い、悩み、葛藤するものです。いわゆる「ゆらぎ」を感じます。施設のように子どもも職員も大人数いる状況では、「ゆらぎ」は大きく複雑なものになり、職員はそれに苦しみます。ですから施設では、できるだけゆらぐことがないように、ルールが作られマニュアルが用意されています。しかし、それらは子どもに押し付けるものではありません。すべての子どもに合致するものなどないからです。押し付けようと思えば思うほど、また別の必要のない「ゆらぎ」が生まれるでしょう。その必要のない「ゆらぎ」を避けるために、また新しいルールとマニュアルが作られます。結果として、子どもの生活は息苦しくなりますし、子ども個々のニーズに応じた養育が難しくなります。同様に、里親養育でも「ゆらぎ」を避けるために里親が一方的にルールを定め、それを子どもに押し付けてしまうことが見受けられます。結果として、子どもとの関係は悪化してい

ます。

大切なことは、「ゆらぎ」を避けるのではなく受け入れることです。そのために、自分が感じる迷いや不安、動揺や葛藤などを否定せず、自分に率直であることが大切です。子どもの養育には正解がありませんから、「これでよいのだろうか」、「本当に子どものためになっているのだろうか」といった「ゆらぎ」こそが、養育者としての成長を支えていくのです。また、子どもとの関係性も、「自分のために悩んでいる」ことが伝わってこそ、育ち、深まるものです。

養育の現場で、「ゆらぎ」と無理なく向き合い受け入れていくために次のようなことが大切であると考えられます。

- ・個人の方では子どもを救うことも助けることもできないことの自覚。
- ・養育に正解はないことを踏まえ、自身の言動を見つめなおす謙虚さ。
- ・共に養育にあたる家族への感謝。

その上で里親には、関係機関に支援を求める力、支援を受け入れる度量が求められます。いうなれば「開かれた養育」です。このような力を培うためには、些細なことでも語り合えることが大切です。里親カフェはそのためにあるのです。

第68回栃木県里親大会が開催されました。



栃木県里親大会式典



式典後の交流会

昨年11月に栃木県鹿沼市にあるニューサンピア栃木にて、第68回栃木県里親大会が開催されました。大会には里親、里子、関係機関の方など合わせて185名の参加があり、楽しい大会となりました。優秀児童、優秀里親の表彰と里親、里子による体験発表は、日々、子供の養育に取り組んでいる里親たちへの励ましとなり、養育について、いろいろ考える機会になりました。

また、大会後には、ビュッフェ形式で食事をしながら交流会が開かれました。バルーンアートのアトラクションや里子による歌や空手の演武などを楽しみながら、里親さん同士の会話も弾んでいました。

栃木フォスターリングセンターではビデオによるセンターの活動紹介をしたり、フォスターリング・パートナーも参加して、里親さんとの交流を深めました。



里親、元里子による体験発表



里子によるパフォーマンス

フォスターリング チェンジ プログラム

Fostering Changes Program を知っていますか？

子どもとの関係を改善し問題行動に対応する里親トレーニング・プログラムです！

栃木フォスターリングセンターでは里親の養育の助けとなるよう、様々な活動を実施しています。フォスターリング、チェンジプログラムもその一つです。今年も実施する予定です。興味のある方はセンターまでお問い合わせください。

フォスターリングチェンジプログラムを受講して

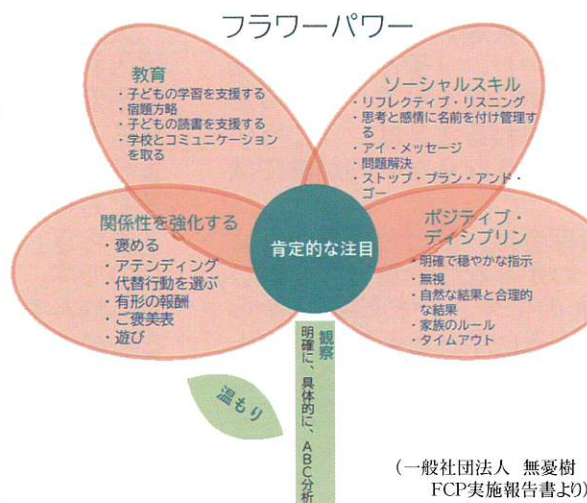
里親Yさん



私には養子縁組した小学校1年生になる息子がいます。発達障害があり4月から通っている小学校の行き渋りがあって子育てに悩む日々でした。

研修は居心地のよい雰囲気でも内容も分かりやすく、また他の里親さんと悩みを共有したりと楽しくいつもあつという間でした。

子供との関わりも研修で学んだ事を意識的に実践するようになった結果、徐々に行き渋りも減って今は元気に通っています。研修を受けて私自身、気付かされた事も多く、通って良かったと思います。



プログラム内容は、左の図「フラワーパワー」に示されているような4つ要素からなっている。

養育に最も必要な要素として「温もり」と「観察」が基本となり、中核に「肯定的な注目」がある。以下の①から④の順番でセッションが実施される。

- ① 関係の構築～ほめる、アテンディング（肯定的注目）、代替行動の選択、有形のご褒美、ご褒美表
- ② 教育～子どもの学習の支援、宿題方略、子どもの読書を助ける、学校との連携
- ③ ソーシャルスキル～リフレクティブ・リスニング、考えと感情のラベリングと管理、アイ（私は）メッセージ、問題解決、ストップ・プラン・アンド・ゴー
- ④ ポジティブ・ディシプリン（肯定的しつけ）～明確で冷静な指示、選択的無視、自然な結果と合理的な結果、家族のルール、タイムアウト



どうする？子どもの進学・就職

長期的な視点を要する進路選択

(里親ファミリーホーム養育指針ハンドブックより)

自己選択が十分にできる環境に置かれなかった子どもは、受け身になりがちです。このため受託した子どもには、往々にして自己選択能力が弱いことが見られます。自分の行動を意識的に選び取っていく能力。生活していく能力。そうしたものがベースになって、就職や進学が可能になります。養育の中では、そういう力をはぐくむことが大事です。

事例

子どもが大学に進学したいということで、高校2年生のころから志望校の選択とともに、社会的養護の子どもを対象にした奨学金や一般の奨学金について、児童相談所や学校の先生と話し合ってきました。高校3年になるとすぐに奨学金の申請が始まり、作文や申請書の作成で非常に大変でしたが、念願の大学に進学でき、現在はとても楽しい大学生活を送っています。

大学（短大・専門学校含む）への進学を希望している里子/里親のみなさんへ

国の支援（日本学生支援機構）の他に、企業や民間団体による給付型（返済不要）の奨学金が数多くあります。これらの情報をまとめて詳しく発信しているサイトができました。是非ご活用ください。

社会的養護の奨学金検索サイト「Miomus」 <https://www.miomus.net/>

我が家でも何人もの子どもたちがエントリーし、奨学金を得ています！！奨学金申請にあたっては、里子さんへのサポートはもちろんのこと、里親さんや児童相談所が準備しなければならない書類等もあるので書き方がわからないなど困ったらご相談ください。〈ファミリーホームはなの家：石川浩子〉

※「とちのき」では様々なテーマについて取り上げ、それに関する話題や情報を提供します。取り上げてもらいたいテーマがある方は、センターまでご連絡ください。



我が家のほっこりエピソード

里親Uさん



五歳の里子を迎え十ヶ月。今では六歳になりました。日々のエピソードをご紹介します。

車検を終え車が戻って来た時、「あれ、このボタンないよ。」と真っ先に気づいてくれたおかげですぐに車屋に連絡し、見つけて貰う事ができ、皆に褒められ大得意でしたね。

ところが直後に「おもちゃがない。」と騒ぎ、家じゅう探し、車屋にも連絡して探してもらったけれど見つからず。その後、車内のアームレストに収納を見つけて入れたら忘れてしまったことが判明し、照れ笑いする子どもらしい一面も見られ安心しました。

今でも「あの時僕が部品無いの気づいたんだよね。」と自慢する反面、おもちゃがないと大騒ぎしたことは忘れていて、笑いそうになりますが、「あの時大活躍だったよね。」と認めると、家族の中ですごい役目を果たしたというように誇らしげです。

クリスマスが近づき、サンタさんの絵本を読んであげると、トナカイを覚えたようで、山道を走行中、動物注意と二匹の影が表示されている標識を見つけると、

「猪とトナカイが出るって！」と教えてくれました。笑いをこらえ、「鹿でしょ。」と言うと、「鹿って何だ？」と。鹿の方を知らなかったのね。大丈夫だよ。一つ一つ覚えていこうね。

彼は笑顔で周りを明るくする力を持っているように感じます。おかげで、子どもを通して近くの先輩里親子さんとお知り合いになれたことが、親子共々得るものが多く、大変感謝しております。子どもは、やがて思春期を迎え、生い立ちに悩むこともあるでしょう。同じ立場の仲間の存在は大きいと思います。家族で過ごす一日一日を大切にしたいです。そして日々紡いできた思い出が、揺れる心を癒してくれることを願っています。

とちのきフォスター 時間外電話相談

毎週 水曜日 17:00~20:00

※養育中のお子さんに関する相談に限ります。

080-8082-2298

お子さんの養育で困っている方、一人で悩まずにお気軽にご相談ください。



はじめまして！
フォスタリングパートナーです！



フォスタリング・パートナー
益子さだみ

児童自立支援施設に勤務していた頃、施設を出た後、家庭にも施設にも行けない子と出会い、里親になることを決意しました。子ども、私達夫婦共に様々なことがありました。行き詰った時、児相や同僚に困り事を聞いてもらうことで何とか乗り越えました。今は里親になり子どもたちと生活したことが素晴らしい思い出になり、大人になった子どもたちは掛け替えのない存在になっています。

フォスタリングパートナーとして、何が出来るかわかりませんが里親さんの話を聴くことに徹しようと思っています。里親さんが子どもと真剣に向き合っている姿に毎回感動しています。のほほんとした、お喋りおばあちゃんが里親さん宅におじゃまします。私の願いは、安心して生活できる里親さんとの出会いで、自分を大切に生きていける子どもが一人でも多くなることです。里親さん頑張りましょう。

里父カフェ
未委託里親カフェ
大人同士の話。

里親カフェも
《オールとちぎ！》

里親カフェ
クリスマス会
12/23 佐野

12/9 とちぎ県民会プラザ

TFC里親カフェは各地で開催、地区を超えての交流が出来ます。地域の里親さんと繋がるのはもちろん、広い範囲で交流が出来れば、同じ境遇の方と出会い、悩みや、のろけ話もできるかもしれません。

カフェはその時々でテーマを設けています。季節の行事、里父の回、未委託さんの回、告知の回・・・と、楽しい回も、ちょっとシリアスな回も用意してあります。初めての参加で気後れしてしまう、なんてこともあるかもしれません。

お任せ下さい！！スタッフへ声を掛けてくだされば、お手伝いできます。

里親さんをお願いしたいのは孤立しないこと、一人で抱え込まないことです。大変だと思っている子育ても人に話せば笑い話なんてことはよくあること。辛い経験も、誰かのヒントになるかもしれません。またヒントを貰って帰れることもあるかと思えます。是非みなさんのリフレッシュの場、仲間作りの場としてカフェをご活用ください！

■メール会員登録募集中(無料)■

メールアドレスを登録すると、研修や講演などの案内や、センターからの様々な情報が送られます。登録は栃木フォスタリングセンターのホームページの「お問い合わせ」から、氏名、メールアドレス等をお知らせください。



〒320-0065
栃木県宇都宮市駒生町1837-3
tel:028-612-6970
fax:028-612-6971
email:tfc2021@circus.ocn.ne.jp

ホームページもご覧ください



HPのQRコード



開所時間:9:00~17:00
定休日:日曜日、月曜日、祝日、年末年始

ホームページ: <https://tfc2021.jp/>